



# Wakakei2015



http://www.wakakei.com/

## 若き経営者の会 ニュース会報

発行所  
若き経営者の会  
総務部

発行責任者  
篠田 義仁

事務局：宇部市鶴の島町7-31  
（株）美建築設計事務所  
☎ 32-3450  
FAX 34-2016

### 4月定時総会感想

総務部副部長 瀧口 堅太

今年の4月定時総会は何かが違った、皆さんご存知の通り国会議員の河村建夫氏・林芳正氏を迎えることになり、会の指揮も高まりこの事業を担当する総務部としてはとても光栄なことでした。いつ到着するかわからない、そんな状況の中部員のメンバー達といろんなシチュエーションに対応できるように準備し、緊張感漂う中総会が始まっていったことを今でも忘れられません。

まずは、国本部長の提案で行った和太鼓の演奏のアトラクション。厳かなふいんきで始めることができました。また、会長にも思いを和太鼓に込めてたたいてもらい皆さんに表現でき、いい紹介の場になったのではないのでしょうか。またアトラクション2で準備していたマジックショーは時間が押したため予定より時間が取れなかったことが申し訳なかったです。無事に招待客も迎えることができ、来年度に向けての課題もできましたが部員一丸となって事業を終えることができよかったですと思います。



### 総務部担当例会

総務部部长 国本 博史

今年度、総務部では8月に担当例会をさせて頂きました。まず開催に当たり総務部らしくと言う意見から始まりました。総務部らしいとは？部員から色々な意見や案が出された中から、普段当たり前に使っているビジネス文書を改めて掘り下げてみようと言う事にまとまりました。講師は飯田副事務局長の知人でもある、学校法人YIC学院 経営企画部 事業企画室長の山下 滋氏に「実践・ビジネス文書講座」というテーマで講義して頂く事になりました。山下氏はYICビジネス専門学校で現役でご活躍されておられる方なので、総務部としては安心して準備に取り組みました。当日は、会員から事前に取りっていたアンケートに基づいて、官公庁や企業に対する入札における見積もり、プロポーザル等、実用的な話をさせて頂きました。またこの例会用に作成して頂いたテキストでは、敬語の使い廻しから見栄えの良い文書の作成方法等、改めて基本を学ぶことが出来たので、日頃からの疑問も解けてより理解が深まり、非常に為になる例会になりました。

8月例会を迎えるにあたり、会員の皆様には事前アンケートにご協力頂きました事、進行にご協力を頂きました事、この全員の一体感が会の成長の源なのだと感じさせられました。



### 1年を振り返って

総務部 岩本 貴志

1年とは短いもので、自分が何かをやり遂げたとはいえない様な気がします。特に総務部の重要な仕事である総会の準備、進行に関しては、人に対する気遣い、思いやり、心配が強く感じられました。席順、人間関係など沢山ありますが、小さな事、些細な事が出来なければ大きな事は成し遂げられません。これは会の活動だけでなく、仕事でも同じではないでしょうか？入会して10年あまり経ちますが、まだまだ学ぶべき事は沢山あります。

### 誕生日プレゼント担当

総務部 春日 智貴

平成27年度の誕生日プレゼント係りを担当させて頂いた春日です。

国本部長からプレゼント係りに任命され、初めての事で戸惑いましたが皆さんに色々教えていただきながら進めて行きました。最初の内は忘れてしまいそうになり慌てた事もありましたが何とか進めて行くことが出来ました。

担当になって思った事は、私自身入会して日が浅い事もありまだお話した事の無い会員の方もいらっしゃいましたが、何らか

の形でコミュニケーションが取れ大変良い経験が出来たと思います。

この経験を生かし、会員の皆さんともこれまで以上に仲良くして頂き、会の発展の為協力して行きたいと思います。一年間、会の活動に携わらせて頂き大変貴重な経験をさせて頂きました。ありがとうございました。

## 年間事業について

教育部部長 月本 信行

今年度の主な事業は、6回の月例会を担当する「年間例会事業」と、恒例の「一泊研修事業」でした。初めて教育部の担当となり、改めて事業全体を見渡した時、やはり教育部の「原点」（部のスローガン）に立ち返り、「学ぶ」ことを全体の目的としました。そのため、月例会はもちろんのこと、一泊研修においても例年以上に「研修」がメインの、ある意味「部長らしい」事業になっていたと思います。（一泊研修については別稿に譲ります。）

一泊研修はもちろん重要な事業です。ただ、6回の月例会を担当するという量的な点、またその例会を通じて会員に与える影響等を考えると、やはり「年間例会」が教育部の中核の事業であると個人的には思います。そこで、テーマの選定にあたっては多くの会員に興味を持ってもらえるよう、業種を問わないこと、経営者として知っておいたら良いのでは、と考えるものを基準にし、「労務」「会計・税務」「法務」「補助金」を選びました。それぞれの講師には、「労務」は当会OBでもある特定社会保険労務士の上條昭夫先生、「会計・税務」は公認会計士・税理士の河口雅邦先生、「法務」は弁護士の大崎真先生、「補助金」は実際に部員企業の補助金申請をサポートした西京銀行より宇佐川宙先生にお願いしました。

また、新たなチャレンジとして、「労務」と「会計・税務」については2ヶ月連続しての例会を開催しました。2月続けてご講演いただいた講師の先生のご協力により、これらの例会は内容も大変充実したものとなり、出席会員から高い評価をいただくことができました。この他にも、案内文の配信等、例年と異なる方法も試行してみました。

運営面については、全ての事業を通じて円滑に行えたと思います。これも、講師との打合せから当日の運営まで、それぞれの仕事を完璧に行っていただいた部員の皆さんの協力があればこそ、でした。未熟な部長を支えてくれた、中野副部長を始めとする部員の皆さんには感謝の言葉もありません。1年間ありがとうございました。



## 一泊研修

教育部副部長 中野 喜一

今年の一泊研修は、7月11日（土）・12日（日）に大河ドラマ「花燃ゆ」と世界遺産登録で盛り上がる萩市で行いました。

研修当日、参加する21名の皆様は予定時間通りに萩市の海産物の製造、販売を手掛ける老舗（株）井上商店を訪れ、井上光治専務による「約束の揺るぎ無い行動哲学」の演題で、「しそわかめ」が山口県を代表するブランドになるまでの商品開発の苦労話や、営業手法などをご講演していただきました。これは例年のない試みになりますが、経営者の皆様は、一泊研修の場であっても、気を緩めず、落ち着いた雰囲気の中で、一つでも多く吸収しようと真剣に一時間、講師の話を聞きました。

そして、夕方に、場所を移し講師を交えての懇親会を行いました。現地を視察して、初めて分かったのは萩の居酒屋の多くが、飲み放題や予約のシステムがありません。しかし、樋口副会長をはじめ部員らの二回にわたる現地視察の甲斐があって、萩で指折りの人気居酒屋「18番」を予約できました。噂の通り「18番」の酒はもちろん、料理も美味しかったです。皆様は出された地酒や、地魚などを十分に堪能し、会員同士の親睦はより一層深まったかと思います。

そして、翌日の参加人数は減りましたが、お残りになった皆様は松陰神社から城下町まで、ゆっくり楽しく散策しました。世界遺産登録されて初めての日曜日であったので、町のいたる所で観光客が溢れていました。その萩の町を巡りながら、ガイドさんの丁寧な解説を聞き、萩の歴史をもっと知ることができました。

最後になりますが、今年の一泊研修は、現地の講師講演、ビジネスホテルの宿泊、居酒屋の懇親会という例年とは一味違った形で、今年度の教育部の色も出たので、良かったのではないかと思います。また、講師を快く受けていただいた井上専務をはじめ、教育部の部員や、そして、部を超えて会の皆様からたくさんのご支援、ご協力を賜りましたことを、この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。本当に有難うございました。





## ねんりんピック事業を終えて 企画部部长 石丸 直樹



10月18日にきらら博記念公園にて開催された「ねんりんピックおいでませ！山口2015（第28回全国健康福祉祭やまぐち大会）」にボランティアとして参加しました。この事業は若き経営者の会として社会奉仕が出来る絶好の機会と位置付け企画しました。当日は、20名の会員にご参加いただき、場内の来場者集計とアンケートを通じて入場者や選手の皆さん、また他のボランティアの方々と交流を交わせる貴重な機会になりました。

また、今年は毎年の献血事業をやめての新たなチャレンジとなりましたが、会場に献血ブースもあり、会員の皆さんも献血を行っていたので一石二鳥となりました。さらに、空き時間、休憩時間に健康チェックを受けることができ、改めて健康づくりを意識するきっかけとなり、その後の例会で「ねんりんピック後に健康を意識し始めた」との嬉しいお声も。

長時間の立ち仕事で非常に大変だったかとは思いますが、皆様のご協力により有意義な事業になったと思います。本当にありがとうございました。



## 交流事業を終えて 企画部副部长 原 洋司

今年度は新たな取り組みとして、今まで山大の留学生と国際交流事業として行っていた事業を、留学生のみならず幼稚園児を含めた新たな三者の交流事業として立ち上げました。

新会長から若い二人ならではの新しい取り組みを見せてくれとの要望もあり、企画段階から非常に苦勞の多い事業でした。

早い段階でTOKIWAファンタジアに出展する事は決まっていたのですが、今まで行っていた留学生との交流はどうするのか、新しい取り組みとしては何をするのか。幸い過去2度ほど若経でイルミネーション出展に関わらせて頂いていたおかげで他の団体はどういう取り組みをしているのか、どういう団体が出展しているのかなどの情報がありましたので、その経験を元に子供たちとの交流をこの企画に加えてはどうか？と波多野部長と話し合いました。

そこから幼稚園児に絵を描いてもらい、その絵を元にイルミネーションを留学生と一緒に作るといった素晴らしい企画が誕生しました。

この事業では自分が今まで行ったことの無い幼稚園への協力依頼、プレゼンなど苦手な事も含めて貴重な経験をさせて頂きました。また、OB含め部を超えた方々に色々な面で助けて頂きました。このような大きい事業を担当させて頂くといつもながら人との絆の大切さを再確認させてもらえます。今まで会で関わった事業の中でも一番しんどかった事業でしたが素晴らしい達成感を味わわせて頂きました。関わられたすべての方に感謝です。

## 奥様研修レポート 文化部部长 近藤 正史

文化部では2月27日（土）に奥様研修を行いました。

この企画は奥様達にも自分達が行っている研修を体験して頂く企画です。

今回の研修は自分の奥様をより美しく輝いて頂きたく思い、メイクレッスンを体験して頂きました。

講師にエクラボーテ代表の清水様をお招きし、2時間半の長時間のレッスンを体験しました。

実際に普段使っているメイク道具を持参して頂き、実践を交えた講習になりました。

勿論その間、会員は入ることすらできませんでした（笑）

講習が終わった頃には全員が素敵なアデージョに変身していました。

来年も是非参加をお待ちしております。

## 家族会①レポート 文化部 山本 剛

平成27年7月26日、夏真っ盛りの快晴の中、私は「若き経営者の会家族会」のバスハイクに参加した。バスハイクの目的地は、「重源の郷」懐かしい昭和初期の山村風景を再現しており、いなか屋敷や文化伝承館、そば打ち、紙すき・藍染・木工の手作り体験工房などが立ち並ぶ施設である。

こんな施設へのバスハイクを企画・運営していたのが、文化部である。旅行代理店を生業とした部員は一人もいない中で、このような施設を選別し、バスハイクを企画した文化部の部員には驚きである。家



族会のバスハイクは、施設に行く事だけの企画ではなく、事前に会員それぞれに希望の体験施設のアンケートを取り、人数を振り分けて現地で効率よく重源の郷の体験施設を体験してもらおうという細かな企画設定も文化部では考えられていた。

バスハイクが始まると、文化部員はまず、参加会員、会員家族に茶菓子を振る舞い、バスの中から有意義な会員同士の交流が始まるという企画が実行された。文化部の思惑通りバスの中では、会員家族同士の打ち解けあった会話が聞こえた。会員家族同士の交流が良い感じにできたせいか、途中小休止でパーキングに止まったが、目的地到着まで長い時間を感じられなかった様に思う。目的地到着後、早速ボンネットバスに乗り込み、文化部が企画した最初のアトラクション、釣り堀にて釣り大会が開かれた。会員家族、特に子供達には受けがよく、楽しい時間が過ごせた様に思う。

その後は、前述したように会員それぞれ重源の郷の体験施設を体験し、この施設を満喫できた様に思う。自然の中でゆっくりとした時間が過ごしたせいか、家族の会話が普段以上に弾んだ気がする。家族にとってとても良い時間が過ごせた。帰路でバスの中を見渡すと、遊び疲れた会員や子供達の寝顔が多く見れた、それぞれ楽しく、充実した時間だった事が容易に想像できる。

今回の企画に携わった文化部・それを束ねた部長には労いの言葉を申し上げたいと思う。最後に、若き経営者の会の家族会の意義は大いにあるものと思われま



## 文化部家族会②レポート

文化部 山縣 義昭

文化部では11月15日（日）阿知須スパホテル・宇部72カントリークラブで、家族会「ファミリーナイト」を開催しました。篠田会長の「チャレンジ」というスローガンの下、毎年恒例となっていた12月のクリスマス家族会ではなく、11月のゴルフ場開催という初の試みとなりました。



開始前の夕方にお子様パット大会を行いました。若経会員の子供らしく、元気あふれるゲームでした。結果は月本 Jr.が見事、5メートルのロングパットをカップインして優勝しました。将来が楽しみです。

パーティーでは、子供ゲーム大会、奥様パット大会、お父さん黒ひげ大会など、様々なアトラクションで楽しみました。

会員も、奥様も、何よりお子様たちが楽しそうにしている姿が印象に残りました。

来年も、沢山の家族のご参加をお待ちしています。



1年間どうもありがとうございました。

平成27年度 総務部一同